

# 東濃圏域における地域金融機関職員による継続的なプロボノ活動 【中部ブロック 愛知県名古屋市 コミュニティ・ユース・バンクmomo】

別添資料1

## 地域課題

人口流出を防止すべく、魅力あるまちづくりや雇用の機会の創出が急務であり、その様々な地域課題を解決するためのソーシャルビジネス、コミュニティビジネスの創出が課題として挙げられる。東濃信用金庫では、平成16年より「とうしん創業塾」を定期的に開催し、起業家の育成支援に取り組んでいる。

## 事業目的

地域づくり活動が自立的・継続的に行われるようになるために、地域金融機関職員を対象とした「プロボノパートナー」の募集や、約半年間継続して支援に携わる「組織課題解決プログラム」の実施、協力先や地方自治体等との「委員会」「シンポジウム」等の開催の各取組を通して、新たな価値創造に貢献する地域金融機関職員を発掘・育成するプログラムを開発する。

## 事業概要

### 事業1

- 東濃信用金庫職員を対象に、職業上持つ知識や経験、スキルを生かす「プロボノ」を募集

### 事業3

- 委員会:本活動の大きな方向性や目指すべき成果を確認し、俯瞰的に見直す。
- ブログ、シンポジウム等:本活動のプロセスや成果を発信する。  
⇒本活動に参画する地域金融機関等を発掘する。

### 事業2

- 「組織課題解決プログラム」の実施

東濃信用金庫

コミュニティ・ユース・バンク  
momo

プロボノが2チームに分かれ、地域づくり活動団体(2団体)の経営課題を把握し、「組織課題解決」「SROI測定」の2つの側面から解決の糸口をともに考える機会を継続的に提供

### 【支援先】

- ・NPO法人えなここ(恵那市)
- ・NPO法人Mama's Café(多治見市)

次年度以降

- ・支援先への融資検討(ニーズ次第)
- ・中間支援NPOの設立
- ・本活動の継続実施

## 事業成果

地域づくり活動が自立的・継続的に行われるようになるために、地域金融機関職員を対象とした上記取組概要を通して、新たな価値創造に貢献する地域金融機関職員を発掘・育成するプログラムを築いた。

⇒SROI測定による社会的価値を算出、組織課題解決の糸口を形式化

## 中間支援における工夫や苦労した点

### ●工夫

- ・アドバイザーもLINEに登録し、進捗状況を確認できるよう工夫
- ・「支店長会議」での紹介で全店へ本活動を発信し、「プロボノ募集説明会」へつながったことから、さまざまな部署から意欲的な職員の参画に寄与した。

### ●苦労した点とその対応

#### <東濃信用金庫(プロボノ)にとって>

- ・支援先の理解に時間がかかった  
⇒定例ミーティング以外の集まり(現地訪問、定例以外での集まり・懇親など)を活用し、支援先やアドバイザーとの調整など、プロボノが自発的に行動。
- ・SROIの知識や時間の使い方に対し、各チームで次第に差がうまれた  
⇒チームで話した内容はLINEをはじめとしたSNSの活用などにより支援先と都度共有を図り、情報格差を是正。

#### <コミュニティ・ユース・バンクmomo(応募団体)にとって>

- ・チームすべての活動経過を把握することが困難であった  
⇒定例ミーティング前後で、各チームのプロボノへ相談し資料などを入手



### 今後の予定

- 愛知・岐阜・三重県下の地域金融機関とともに、NPOの活動による社会課題の解決がもたらす定性的な価値を金銭価値に換算して定量的に示す「SROI」を測定することにより、地域金融機関のNPOに対する理解が進み、NPOへの融資が供給されやすい仕組みを構築する。
- ⇒複数名の金融機関職員が来年度から当団体の理事や顧問に就任予定
  - ⇒人材育成に関する「白書」の発行
  - ⇒NPO等向け支援プラットフォームの立ち上げ(日本政策金融公庫等)
  - ⇒三重県内の地域金融機関職員との勉強会の開催

項目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1. 「プロボノ」「参加NPO」の募集	● 広報 ● 広報	● 開催	● 切 ● 開催	● 開催	オリエンテーション							
2. 「SROI」の測定		シンポジウム			● 開催	● 開催	● 開催	● 開催	● 開催	● 開催		
3. 「ブログ」「白書」「フォーラム」での情報発信	● 開設	ブログ							白書	● 作成	● 発行	
									定例ミーティング			
										● 広報		● 開催
									フォーラム			